

神戸三宮「えき～まち空間」・税関線

景観デザインコード

神戸は、都市的な建築物と美しい港、緑豊かな六甲山系により構成され、都市と自然が調和した上質な街並みが形成されてきました。また、明治の開港から培われた個性豊かなヒト・モノ・コトを受け入れる進取の気性が生まれ、震災を乗り越えた助け合いの心を持ち、多様な人々が集まり交流するまちです。これらの神戸らしさに磨きをかけるとともに、SDGs の考え方を取り入れることで、都市と自然が調和した上質な街並みを持続的に発展させるとともに、次代を担う子どもたちの原風景を創出し、まちなみを通じた世代間の交流がつながることが重要です。

また、「神戸の魅力は人である」という想いを集約したシビックプライド・メッセージである「BE KOBE」をまちづくりで実現していくためには、「人」がまちの主役となり、暮らす人が誇りを持ち、訪れる人が好きになる、50年後、100年後にもずっと魅力的であり続けるまちとしていくことが必要となります。

都心・三宮の再整備では、神戸らしさに磨きをかけ、「BE KOBE」の思いをまちづくりに活かしていくために、公共空間や沿道建築物とそこを訪れる人々の活動が相互に呼応し、三宮クロススクエアをはじめとする公共空間がまちの背景となり、沿道建築物と調和し、「人が主役」の居心地の良い「上質」で「洗練」された都市空間を創出していきたいと考えています。

これらの実現を目指して、「えき〜まち空間」・「税関線」における公共空間の整備に向けた計画や、周辺の建築空間のあり方を示し、公共空間と沿道建築空間が一体となった魅力的な都市空間のデザインを市民や民間事業者の皆様と共有するために、「景観デザインコード」を策定しました。

「えき〜まち空間」や「税関線」で事業を計画される際は、「景観デザインコード」の考え方をもとに、神戸市が設置する都心三宮デザイン調整会議を積極的に活用し、また地域団体等の意見も取り入れながら、公共事業と民間事業の計画を議論し、総合的なデザイン調整を行います。特に、まちにひらかれた神戸の玄関口にふさわしい利便性とにぎわいを兼ね備えた魅力的な空間としていくためには、公共空間と沿道建築物の中間となる領域が重要であり、社会情勢や地区の特性に応じた考え方により、柔軟に協議を重ねることにより創りあげていきたいと考えています。このような取組を継続的に進めることが、沿道の価値や都心のポテンシャルの向上にもつながると考えています。

今後とも都心・三宮の都市空間において事業計画をされる皆様としっかり議論を重ねつつ、都市空間を活用する人々の活動の成長と連動しながら、景観デザインコードを進化させていきます。

神戸市
都心三宮デザイン調整会議

神戸らしさ

- 都市的な建築物と美しい港、緑豊かな六甲山系により構成される都市と自然が調和した上質なまちなみ
- 開港以来、国際性に富み、個性豊かなヒト・モノ・コトを受け入れる“進取の気性”
- 震災を乗り越えた助け合いの心を持ち、多様な人々が集まり交流するまち

BE KOBE

「人」がまちの主役

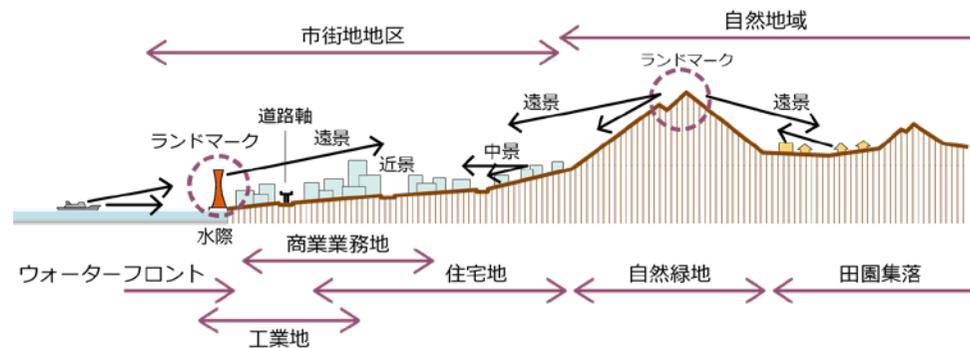
暮らす人が誇りを持つまち、訪れる人が好きになるまち
50年後、100年後にもずっと魅力的であり続ける

重要な視点

- 都市と自然が調和した上質なまちなみを持続的に発展
- 次代を担う子どもたちの原風景の創出
- まちなみや活動を通じた世代間の交流

“人が主役の居心地の良いまち都心・三宮
～BE KOBEの思いをまちづくりに活かす～”

- 公共空間と沿道建築物とそこを訪れる人々の活動が相互に呼応
- 公共空間はまちの背景となり、沿道建築物と調和
- “人が主役”の居心地の良い「上質」で「洗練」された都市空間の創出

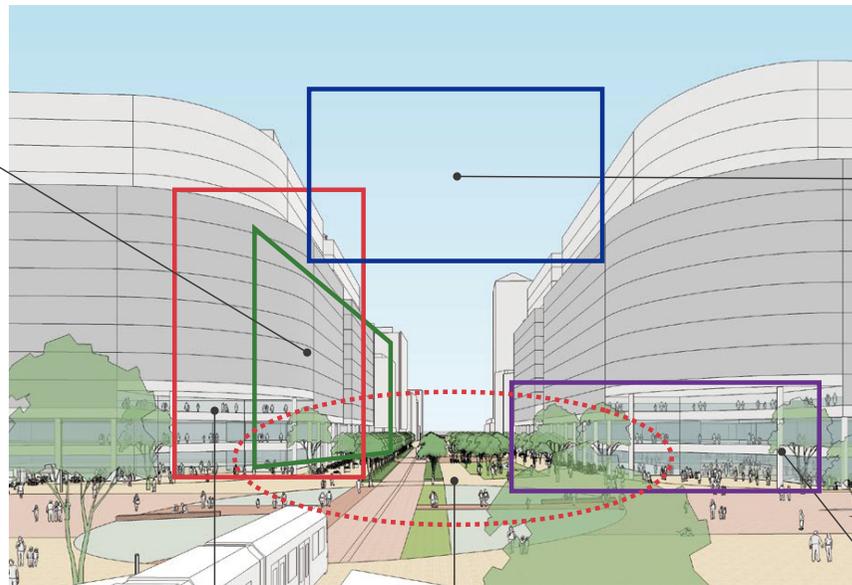
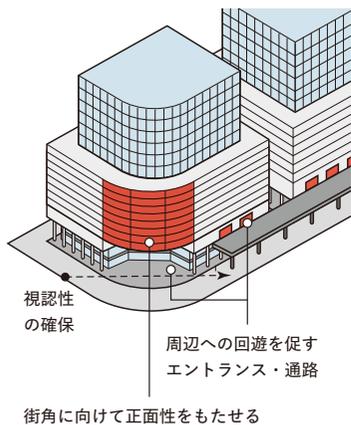


神戸三宮「えき」まち空間 税関線で目指す空間像



連続性や一体感のある
洗練されたまちなみ

- ・遠景、中景、近景に配慮した建築物のデザイン
- ・壁面位置や軒線の誘導等による一体感のあるまちなみづくり

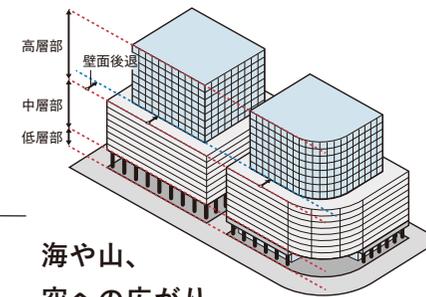


街角の顔づくり

神戸の顔を印象付ける正面性のある軽やかで空間の広がりを感じられるコーナーデザイン

人が主役となる 居心地の良い空間

人が主役として、人が活動する様子や花・緑を引き立たせるモダンでシンプルなデザイン



海や山、 空への広がり

- ・海や山、空への見通し景観に配慮したまちなみづくり
- ・高層部のセットバックによる圧迫感の軽減や都市空間の広がり確保



官民一体となったにぎわい

沿道建築物がまちにひらき、公共空間と一体となったにぎわいの創出



三宮クロススクエア 三宮交差点の整備イメージ (第1段階)

民間建築物等はイメージであり、今後変更となる場合があります。



税関線・東遊園地前の整備イメージ

民間建築物等はイメージであり、今後変更となる場合があります。

目次

1 はじめに

- 1-01 神戸三宮「えき～まち空間」・税関線
景観デザインコードの概要
- 1-01 背景
- 1-04 目的・構成・対象範囲
- 1-05 運用方法

- 1-06 都心・三宮の再整備
- 1-06 都心三宮のこれまで
- 1-08 都心三宮及び周辺の都市構造
- 1-10 都心における主要プロジェクト
- 1-12 道路空間を活用したこれまでの取り組み
- 1-14 「えき～まち空間」における
エリアマネジメントの取り組み
- 1-16 スケジュール

2 景観形成方針

- 2-01 景観形成方針
- 2-02 5つの柱と12の方針

3 公共空間のデザイン

- 3-01 概要
- 3-04 全体平面図

- 3-06 デザインの考え方
- 3-06 デザインスキーム
- 3-09 花とみどり
- 3-12 夜間景観
- 3-14 異常高温対策
- 3-15 防災
- 3-16 感染症に強いまちづくり

- 3-18 三宮クロススクエアのデザイン
- 3-22 三宮クロススクエアー三宮交差点
- 3-24 三宮クロススクエアー東エリア
- 3-30 三宮クロススクエアー北エリア
- 3-34 三宮クロススクエアー南エリア
- 3-38 三宮クロススクエアー国際会館前交差点
- 3-40 三宮クロススクエアのデザインディテール

- 3-42 税関線のデザイン
- 3-44 税関線ー市役所前
- 3-46 税関線ー東遊園地前
- 3-52 税関線ー磯上側歩道

4 建築空間のデザイン

- 4-01 概要
- 4-01 対象範囲
- 4-02 用語の定義
- 4-03 運用
- 4-05 景観計画に定められた方針

- 4-09 建築物のデザイン
- 4-10 1. 建築物の形態や壁面デザイン
- 4-15 2. 建築物の低層部や外構の設えとデザイン
- 4-21 3. 主要な街角の建築デザイン
- 4-22 4. 緑化や工作物等への配慮
- 4-24 5. 夜間景観

- 4-27 屋外広告物のデザイン
- 4-28 1. 共通事項
- 4-29 2. 種類別
- 4-33 3. 夜間景観
- 4-34 4. 映像装置

付録